

■ 災害対応バルク貯槽ユニット仕様

1. 主要構成機器

No	部品名称	備考
①	バルク貯槽本体	
②	調整器ユニット	別売
③	低圧金属フレキ管	
④	低圧燃焼器用ホース	
⑤	バルクベース	
⑥	業務用マイコンメータ	別売
⑦	ガス栓ヘッダー収納ボックス	
⑧	支柱ユニット	

2. 横型災害対応バルク貯槽ユニット外形寸法・アンカーピッチ

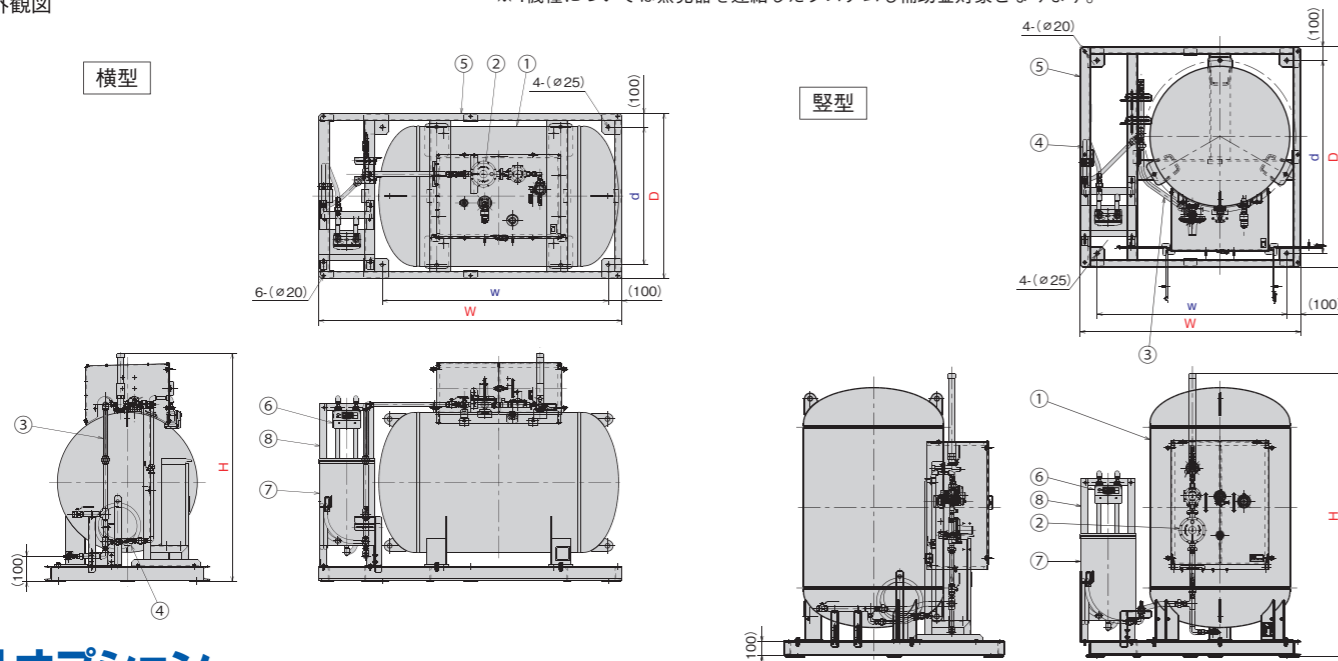
記号	外形寸法(mm)			アンカーピッチ(mm)		内容積	最大貯蔵量
	W	D	H	w	d		
型式							
YZK-300(K)C			1,349	1,640	1,000	740ℓ	295kg
YZK-500(K)C	2,200	1,200	1,657			1,230ℓ	485kg
YZK-1000(K)C※	2,500	1,550	1,967	1,940	1,350	2,440ℓ	980kg
YZK-1000(K)-PB	2,700		1,925	2,115			
YZK-3000(K)※	3,650	2,250	2,210	2,995	2,120	7,000ℓ	2,800kg

3. 縦型災害対応バルク貯槽ユニット外形寸法・アンカーピッチ

記号	外形寸法(mm)			アンカーピッチ(mm)		内容積	最大貯蔵量
	W	D	H	w	d		
型式							
YZK-300(K)V			1,930	1,375	1,400	740ℓ	295kg
YZK-500(K)V	1,600	1,600	2,054			1,230ℓ	485kg
YZK-1000(K)V※	1,900	2,000	2,449	1,675	1,800	2,440ℓ	980kg
YZK-3000(K)V※	2,350	2,450	3,697	1,695	2,120	7,000ℓ	2,800kg

※4機種については蒸発器を連結したシステムも補助金対象となります。

4. 外観図



■ オプション

1. 燃焼器接続用ホース等

製品名称	用途	備考
Hi-Nゴム管 assy	二重巻き・三重巻きコンロ及びガスストーブ接続用	φ9.5×10m
LPガスコード	炊飯器接続用	φ7×5m
燃焼器用ホース	給湯器接続用※24号まで接続可能	φ20×5m

2. 付帯機器

製品名称	用途	備考
低圧LPガス発電機	災害時の非常電源	①AC-100V・900W/台 ②AC-100V・1500W/台
バルクフェンス	無断立入防止措置	LZAM-300・500ヨコガタ-S 300°・500°用 LZAM-980ヨコガタ-S 980°用
ガードパイプ	車両接触防止措置	アンカータイプ
防災器具等収納庫	防災訓練対応器具等、(発電機・燃焼器等)収納用	

注) 災害対応バルク貯槽ユニットを設置する場合は、設置場所の環境に応じ、車両の接触防止等の措置を講じてください。

3. 燃焼機器・照明器具

製品名称	用途	備考
二重巻きコンロ	防災訓練対応	5升炊き
三重巻きコンロ		
ガス炊飯器		
ガスストーブ		
投光器		LEDケイ・ライト

※燃焼器具等は災害対応バルク貯槽の大きさに応じて種類と数量を決定してください。

災害直後の生活基盤を支えるために
災害対応バルク貯槽ユニット

**補助金
対応モデル**
Bulk unit for disaster

災害に強いLPガスだから、
今すぐ災害対策の強化が可能。



災害対応バルク貯槽 + 低圧LPガス発電機
YZK-500(K)C EU9iGP



低圧LPガス発電機

優れた災害対応力をもつ エネルギー「LPガス」

防災意識の高まりのなかで、
分散型エネルギーである「LPガス」は
災害に強いインフラとして見直されています。

災害対応バルク貯槽ユニットの特長

平常時と災害発生時の両面をカバー

平常時は、毎日の調理や給湯・暖房等にLPガスの供給を行いながら、
万一の災害発生時にも備えることができます。

災害発生直後から、生活を強力にサポート

万一、災害が発生したときでも、バルク貯槽内に残っているLPガスを
炊き出しなど、非常時のエネルギーとして引き続き利用できるため、
避難所の機能としてご活用いただけます。

地域防災に貢献

防災訓練など、地域や施設の防災活動にご活用いただけます。

豊富なバリエーション

設置場所の広さや施設の機能にあわせ、2.9^ト型・980^ク型・500^ク型・
300^ク型等の9タイプから選ぶことができます。

※災害時に備え、LPガスの残量はバルク貯槽の容量の1/2程度以上を目安として常時確保してください。



東日本大震災でのインフラ復旧状況

2011年3月11日の東日本大震災は、インフラにも大きな被害を与えました。
しかし都市ガスや電気に比べて、**LPガスの復旧は早く、災害に強い**
ことが改めて証明されました。東日本大震災の直後、避難所の炊き出し
や暖房の熱源として、仮設需要宅の熱源として、LPG車の燃料として、
分散型エネルギー「LPガス」は大きな活躍をしました。

被災3県における 復旧完了までの日数	LPガス	41日後
	都市ガス	53日後
	電力	99日後

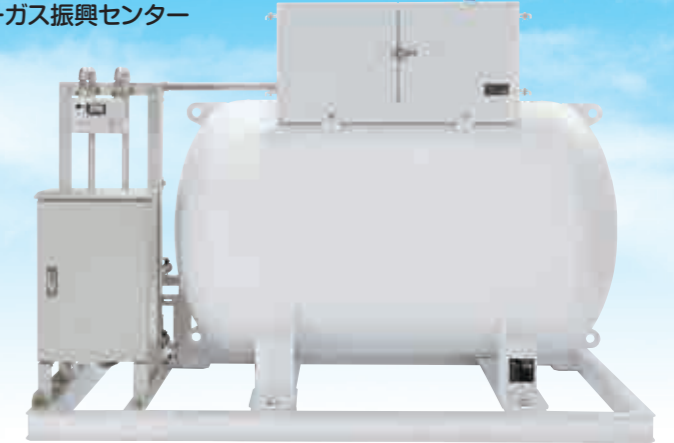
※出典：みずほ情報総研株式会社「東日本大震災を踏まえた今後のLPガス安定供給の在り方に関する調査」

YAZAKIの補助金対応モデル

補助金申請をご検討の際は、
ご遠慮なくご相談ください。
地域の安心のためにお手伝いします。

【申込先】一般財団法人
エルピーガス振興センター

補助金
対応モデル
Bulk unit for disaster



目的

大規模な災害が発生したときに、系統電力や都市ガスの供給が途絶した
場合でも、医療施設、公的避難場所または一時避難場所となり得る
施設等はライフラインの機能を維持することが必要です。国の補助金
は、これらの施設へ「災害対応型バルク貯槽」を購入することを支援し、
災害の発生時においても、これらの施設等がライフラインの機能を
確保できることを目的としています。

補助金の対象となる設置場所

①災害等発生時に避難場所まで避難することが困難なものが多数生
じる病院、老人ホーム等。②公的避難所（地方公共団体が災害発生時
に避難所として指定した施設）。③災害発生時に一時避難所となり得
るような施設等。

補助金の対象となる経費

補助金の対象となる経費は、「災害バルク対応型バルク貯槽等」の「設
備費」と「設置工事費」となります。

補助金額

中小企業者^{※1}は、補助金の対象となる経費の2/3
その他、大企業・地方公共団体等は、補助金の対象となる経費の1/2

注1) 中小企業者の定義については、中小企業庁の定義に従っております。日本
標準産業分類による業種を4区分(卸売業、小売業、サービス業、製造業その他)
に分類し、それぞれの区分で、資本の額(または出資の総額)または従業員の数
の基準のいずれかに該当するものを中小企業者としています。

業種分類	資本金の額または出資の総額	常時使用する従業員の数
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下
製造業その他	3億円以下	300人以下

※資本金の額または従業員の数のいずれかに該当する必要があります。

被災地での生活を支えるために不可欠な機能を備えたシステム



※いつかやってくる「その時」に備えたユニットの一例です。
※地域防災活動に活用いただけます。
※低圧LPガス発電機があれば停電時でも給湯は可能です。

メリット1

地域防災体制の構築に貢献
設置した施設を中心に、行政地域住民を
結んだ「地域防災体制」の構築が可能です。

メリット2

どんな地域でも設置が可能
バルク貯槽を活用しているため、どんな
エリアでも設置が可能です。

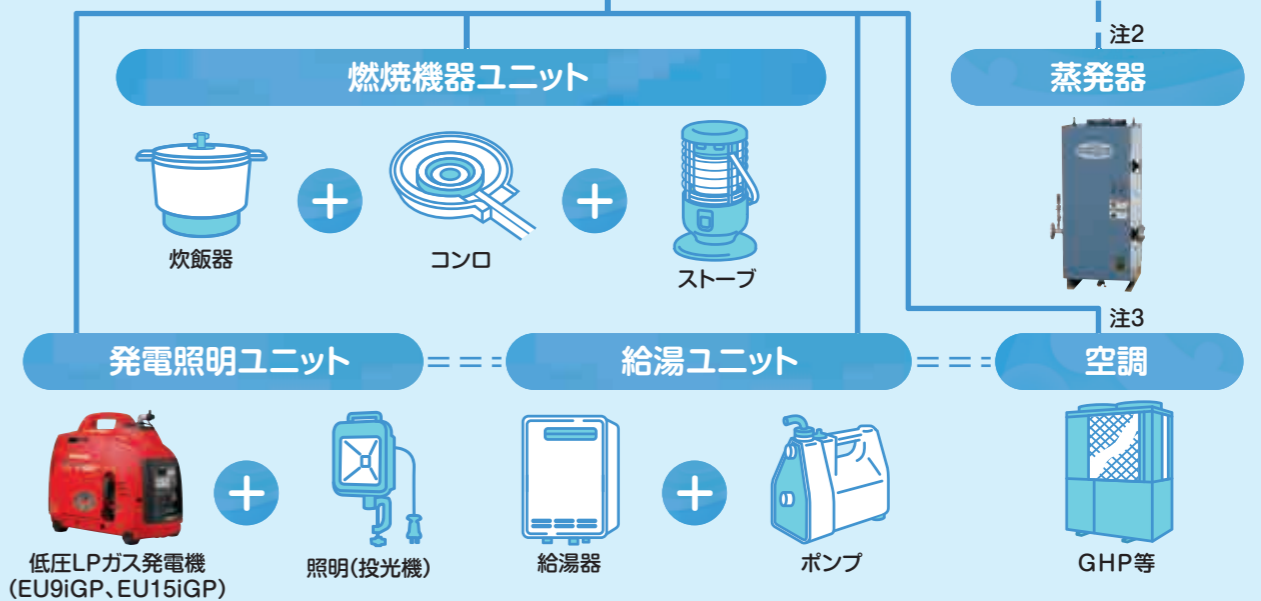
メリット3

低圧LPガス発電機との連携が可能
低圧LPガス発電機と組み合わせることでガスの
供給だけでなく電力を使うこともできます
(定格出力900VA&1500VA)。

補助金の対象

補助金の適用には以下のような
組み合わせがあります。

災害対応バルク貯槽ユニット



注2) 避難場所の機器を稼働させるため、LPガス発生量を補う最小限のものを設置できます。御遠慮なくご相談してください。

注3) GHP等はお客様手配をお願いします。